

危険ドラッグ撲滅に向けた 覚書を警察・不動産業界と締結

区では現在、「(仮称)新宿区危険ドラッグその他の危険薬物撲滅条例」の制定に向けて準備を進めています。

条例には、建物の提供者の責務として、建物を他人に提供する場合は、危険薬物を販売しないよう約束させ、それが守られないときは契約を解除できる旨を定めるよう留意することを盛り込む予定です。

また、危険薬物の販売等を防止するために必要があると認める地域を「危険薬物撲滅特定地区」として指定できることや、特定地区の町会や商店会等の構成員から危険薬物撲滅活動協力員を指定し、区は協力員の実施する危険薬物撲滅活動を支援することなども規定する予定です。

条例の実効性を確保するため、1月20日、区と新宿・四谷・牛込戸塚の区内4警察署、東京都宅地建物取引業協会新宿支部、全日本不動産協会東京都本部新宿支部との間で覚書を締結しました(写真)。

覚書には、区と警察署が危険ドラッグの現状や関連する情報を両協会へ提供すること、両協会が危険ドラッグに関する情報を入手したときは、速やかに区と警察に通報することなどを盛り込んでいます。

区では引き続き、関係機関と連携し、危険ドラッグ撲滅に向けた取り組みを強化していきます。



ご利用ください

コミュニティ活動補償制度



皆さんが安心して町会・自治会活動やボランティア活動などができるよう、区が保険料を負担し、活動中の事故による損害を補償する制度です。

計画的に行う公共の利益を目的とした自発的な活動が対象で、趣味の活動や、受益者や活動を伴わない参加者は保障の対象になりません。

原則として事前の登録は不要です。活動中の事故防止には十分ご注意くださいとともに、万が一事故が発生した場合は、保障制度をご利用ください。

※補償内容や金額等詳しくは、パンフレット(写真)でご案内しています。パンフレットは生涯学習コミュニティ課・特別出張所で配布しています。新宿区ホームページにも掲載しています。

- ### 補償の対象となる活動
- 次の全てを満たす活動です。
 - 区内在住の方で構成する地域団体か区内に活動拠点のある地域団体の活動
 - 広く公共の利益を目的とした自発的な活動
 - 年間を通して計画的に行う活動
 - 無報酬で行う活動(交通費等の実費は無報酬とみなします)
 - 区内での活動または新宿区民が行う国内での活動
- ### ◎公益性のある活動とは
- 町会・自治会活動
 - 地区協議会活動
 - 防災・防犯活動
 - 交通安全活動
 - 社会福祉活動
 - 資源ごみ回収・リサイクル活動
 - 清掃活動(ごみ減量リサイクル課(本庁舎7階)へ「清掃美化活動参加票」を提出。町会・自治会が年間事業として計画的に行う場合は不要)
 - 青少年健全育成のための青少年の指導・育成活動
 - スポーツ・文化活動の指導(参加者は対象外)



事故が発生したときは

区が活動内容や事故の状況等を調査し、制度に該当する場合は保険会社に賠償金を請求します。傷害事故や賠償責任が生じる事故が発生したときは、発生から14日以内に活動団体の代表者が「コミュニティ活動事故報告書」を区に提出してください。

※コミュニティ活動事故報告書は、生涯学習コミュニティ課・特別出張所で配布しています。新宿区ホームページからも取り出せます。

【問合せ】生涯学習コミュニティ課 生涯学習コミュニティ係(本庁舎1階) ☎(5273)4127・FAX(5273)3590へ。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて

新成人が描く「2020」の人文字

成人の日の1月12日、京王プラザホテル(西新宿2)で新成人を祝福する式典「はたちのつどい」を開催し、振り袖やスーツ姿の新成人で賑わいました。

この日は、東京オリンピック競技大会の開幕まで2020日前という節目に当たり、都庁前の都民広場では、カウントダウンイベントが開催されました。式典を終えた新宿区の新成人もイベントに加わり、競泳の萩野公介選手、瀬戸大也選手など新成人アスリートとともに「2020」の人文字を作って東京開催をPRしました。



▲完成した人文字 (PHOTO:Tokyo2020/Ryo ICHIKAWA)

◀カウントダウンイベントの司会を務めたプロテニスプレーヤーの松岡修造さん(写真真左)が「はたちのつどい」に登場し、新成人を祝福



みんなで走る 楽しさを実感

1月25日、明治神宮野球場(霞ヶ丘町)をメイン会場に、第13回新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソンを開催しました。

ハーフマラソンの部では、球場前スタジアム通りをスタート後、神宮外苑や甲州街道の御苑トンネルなどを通り、再びゴールの神宮球場を目指しました。区民健康マラソンと合わせて約1万名のランナーが出演し、走る楽しさを共有しました。



▲子どもたちも元気に走り抜けた区民健康マラソン
◀聖徳記念絵画館前を軽快に走った区民健康マラソン



青木選手が鋭いサインを披露
さまざまなおしゃべり
アスリートが登場

アスリートと 小学生 夢の交流

1月26日、「ふるさとアスリート 課外授業in新宿」を花園小学校(新宿1)で実施し、メジャーリーグで活躍する青木宣親選手、元プロ野球選手の石井一久さん、ボクシング元世界王者の井岡弘樹さんら8名のアスリートが講師として参加しました。

次々と披露される一流の技に感激したり、一緒に鬼ごっこをしたりと、子どもたちは目を輝かせながら、トップアスリートとの夢の交流を楽しみました。

